

令和4年度第2回静岡県地域職業能力開発促進協議会

議 事 録

日 時 令和5年3月16日(木) 13:30~15:30

場 所 静岡地方合同庁舎 4階共用大会議室

議事（3）「令和5年度静岡県地域職業訓練実施計画（案）について」
事務局説明後から

【会長】

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたら委員の皆様からお伺いしたいと思います。

【静岡県商工会議所連合会】

例えば49ページ、「4年度離職者向け公的職業訓練の分野別訓練の実施状況」のところで、先ほどご説明もありましたけど、「IT分野」というのがあって、その下の欄外に「(参考) デジタル分野」があって、右側の「用語の定義」を見ると「デジタル分野」というのは「IT分野、デザイン分野等」と書いてありますが、先ほどのご説明の中にデジタル分野のところにはJ a v aプログラミング、WEBデザインのご説明があったと思うのですが、逆にIT分野というのは具体的に何を指してIT分野と呼んでいるのか言葉の定義を教えてくださいませんか。

【事務局 静岡県】

IT分野につきましては先ほども申しましたとおり、例えば、より高度な情報技術者を養成するような講座、J a v aプログラミング講座などと、ITリテラシーに関する部分が混じっておりまして、より高度な部分につきましてはのみデジタル分野に入れ込んでいるということでございます。

50ページをご覧くださいますと、左側の都道府県がやっている委託訓練、IT分野につきましては2コースがございますが、それがここに該当してきまして、例えばその下の、営業・販売・事務分野にも、いわゆるW o r d ・ E x c e lのようなITを含んだものがあるということでカテゴライズがちょっと違っているということです。

【静岡県商工会議所連合会】

W o r d ・ E x c e l等については両方の分野にまたがっているということですか？

【静岡県】

またがってはいません。

県の会議等では「デジタル分野」を幅広くとって説明をしているのですが、離職者訓練では、レベルが高いものしかITと言わないという定義をしてきているものですから、県はいろいろなレベルの人を、デジタルを使うという意味で幅広く「デジタル分野」と捉えているので、違いが出てしまっている感じになっています。国が「IT分野」と言うのはかなりレベルの高い分野、いわゆるプログラミングなどのレベルの高いものがI

Tで、県が「IT分野」と言うのは、ITリテラシーを含めて幅広く言っているという形です。

事務分野でも医療事務はパソコンを使っているので、幅広く言うとIT分野としていいのですが、細かく本当に定義していくとIT分野に入らなくて混乱を招いてしまいすみません。

【事務局 労働局】

参考のデジタル分野という定義はIT分野とデザイン分野を足したものです。IT分野は、具体的にコースで言いますとオフィスPC中級科とかJavaプログラム制作科などです。そこにWEBデザイン、ホームページのデザインを作るような分野を足したものになります。

【静岡県】

県では総称して「IT分野」と言っているため、考え方が違うので、ここでは離職者職業訓練用の定義ということでお考えください。

【会長】

ありがとうございました。今のご概念の意味がより理解されたかと思えます。その他ご意見ご質問等ありますか。

【静岡県経営者協会】

先ほど小谷野室長から実施計画について説明がありましたが、昨年と比較すると、デジタルの分野が拡充され、離職者の就職率の目標が各項目に落とし込まれ、障害者の項目が1つにまとめられました。また大きなものとしてはリスクリングが入り、今ある課題についてしっかりと対応した内容になっていると思えます。

これだけメニューが豊富になりますと現場のオペレーションが今まで以上に大変になると思えます。現場への支援や指導を更に拡充していただいて、実行性が保たれるように実施していただきたいと思えます。

【会長】

ありがとうございました。その他ご意見ございますか。

【静岡県商工会議所連合会】

57ページの実施計画の策定に向けた方針の②のところですが、冒頭のご説明の中で、デジタル人材を増やすというのは、国の施策になっている中で、現状はIT人材、コロナ、IT人材としては首都圏に点在していて、地方においては質量とも人が足りない

いう、現状があると思います。

その中で応募倍率が高くて就職率が低い。ITニーズに対して引き合いが本来ならば高いはずなのに、就職率が低い分野が、IT分野、デジタル分野になっていますが、これは求人ニーズに即した訓練内容になっていない。求めている求人対象になっているのはITスキルに関するカリキュラムが求人側のニーズに即したものになっていないという理解でよろしいでしょうか。

IT人材がそれだけニーズがあるのであれば、高い就職率が達成されてもいいと思うのですが、これだけニーズがありながら就職率が低い分野というのは、なんとなく理解に苦しむ部分があるのですが、そこはどう考えられますか。

【会長】

ただいまのご質問について事務局はどのように考えていらっしゃるか、ご説明をいただきたいと思います。

【事務局 労働局】

離転職者対象訓練の難しいところで、やはり労働市場では基幹人材であるとか、基幹人材になるための素養を持った人などの即戦力を求めています。

一方、離転職者訓練の方、ハローワークを訪れる方は元々学生時代からその素養がない方も市場のニーズと離転職者のスキルの乖離をどう埋めていくことは我々も感じている課題だと思います。

離転職者向け訓練については、もちろん労働市場に即した人材をそのまま供給するというのが一番なのですが、その前段階の方を労働市場に供給する形にして、まず底上げを図っていくことが、現実的な対応だと思います。

少しでもITリテラシーのレベルからの上の人達の訓練を増やし、それを契機に企業に就職してもらって、在職者訓練も盛んになっていますし、在職者の方の人材開発を後押しする助成金等も来年度から活用促進に入っていますので、企業の在職中にスキルアップしていくことがひとつの現実的な対応と考えます。

【静岡県】

企業が求めている人材は、例えば経験者ですとか、ある程度レベルが高くて、既卒です。アメリカなどは、IT人材は、だいたい既卒を採ってくるのが多くて、それで給料がとても高いという話がよくありますが離転職者訓練では訓練期間は長くても1年くらいです。

離職者訓練を1年くらい受講して企業が求めるレベルまで引き上げることが実際は難しいという現状がありますが、デジタル系の人材は養成、供給していかなければならないという非常に難しい時期であると思います。中小企業はデジタル人材を採るにして

も、何人も採ることができない、「この人は」といったときに合う人がいないと就職には結びつかない。

それからデザインについては、デザイン専門学校に聞きますと、今まではデジタルの就職先は広告関連でしたが、最近は製造のメーカーにも少しずつデザイン系学生を採ってもらっており、環境が少しずつ整ってきています。インターシップを通じて整ってきたというので、デザインについても求人の数は少ないと思いますが、少しずつ求人の数が広がっています。デザインはある程度感性のところも影響すると思いますが、採用は少しずつ増えてくるのではないのかと思っています。

もうしばらく厳しい局面が続く可能性はあると思っています。進めていくことは、進めて行きたいと思っています。

【会長】

ありがとうございました。お聞きしていて抱いた感想ですけど、企業が求めているやレベルの高い技能の具体的な内容について、たとえばデジタル人材であれば、こういうことができしてほしい、ああいうことができしてほしい、そういうものは把握していらっしゃるのでしょうか。

そこまで把握しているのであれば、コースの中で、1年間の終わりの2カ月は、そのところをかなり補充して教えるとか、企業の求めている水準のことを一部織り込みながらやっていくこともなさってみたらどうかと思うのですが、いかがでしょうか。企業の求めている具体的なレベルを是非、今後集めて、それに見合う形のものにしていただけたらと思います。

【高齢・障害・求職者雇用支援機構】

今日の資料の中でも、41ページのところ開いていただけると、たぶんこういったところかと思っています。

これはあくまでも40ページのからの経産省の資料だと思いますが、デジタルスキル標準ということで、40ページから41ページにかけて、41ページの中に人材類型があります。その中でも例えば、難しい言葉でどういう意味なのか、私もあまり分からないこともあるのですが、たとえばデザイナーであれば、その中でも二つ三つくらいに分かれるのでなからうかと思っています。

下の方にソフトウェアエンジニア。とくにデータベース、IT関係を題材として、DX関係を題材として、会社の中でどういった人材が必要かだと思います。43ページ、これは2～3年くらい前から、何回か繰り返されていると思います。

また最近このような形のスキルをベースにした仕事の整理といったものが41ページから、42、43ページということで、一応、整理はされつつあると思います。43ページはあくまで一つだけ、データサイエンスプロフェッショナルというロールです

が表示してありまして、このほかにもこの資料全部で100ページぐらいになると思います。41ページに書いてあるロールにそれぞれ43ページで表示されている内容が書かれています。

その中でもスキルの分解も、これだけだとわかりにくいかもしれませんが、この仕事にデータサイエンティストには、データサイエンティストに就くには、こういったスキルが重要と整理され始めています。これを使いながらいろいろと相談へと導きましょうという流れが今やられているところ。

いわゆる公的職業訓練、特に離職者訓練、どうしても何年もできるわけではないのでやはり就職のためにやっている。なるべく早めに就職していただくという観点、公的職業訓練、離職者訓練、考え方があると思います。ここまでのものについて、現実的には公的職業訓練だけではできない感じはしているところです。

【会長】

どうもありがとうございました。いろいろ難しいことが含まれております。

そのほかご意見いかがでしょうか。

他にはないようでございますので令和5年度職業訓練実施計画（案）を承認してもよろしいでしょうか。

ご意見ございませんでしたので事務局の提案のとおりとさせていただきたいと思えます。

議事（4）「公的職業訓練効果検証ヒアリング実施方法（案）について」

事務局説明後から

【静岡県】

訓練実施機関や訓練修了者、採用企業へのヒアリングにつきましては、ぜひ実施機関、県と機構も都合がつく限り一緒にヒアリングをさせていただきたい。現場がわからないと訓練を実施する方もよくわからないので、一緒にヒアリングをさせていただきたい。ご検討をお願いしたいと思います。

【会長】

他に何かご意見ございますでしょうか。公的職業訓練効果検証ヒアリング実施方法（案）を承認してもよろしいでしょうか。

ご異議はないようですので、事務局の提案のとおりとさせていただきたいと思えます。